学校だより

すこやか鬼怒劇場

第２号　令和８年６月５日（金）　文責：校長　隅内　健二

生徒信条

～　自ら判断し、実行し、責任を持とう　～

生徒総会が行われました　５月８日(金)

生徒総会では、生徒会執行部や専門委員会からの決算報告や予算・事業計画に対して、質疑応答を等して活発な意見交換が行われました。

生徒会活動は、生徒が当事者意識を持ち、自分たちの学校生活をより良くするために自発的に課題を見つけ、話し合いを通じて社会的な合意形成をして解決していく活動です。また、生徒会活動は、「地方自治の練習」とも言われます。その理由は、

1. 「代表者（首長・議員）」を選ぶ仕組みが同じ（生徒会長・役員選挙）
2. 「税金」と「生徒会費」の仕組みが同じ（みんなで出し合って運営する）
3. 「条例」と「校則・生徒会会則」の仕組みが同じ（自分たちのルールを作る）
4. 「身近な課題の解決（住民自治）」の精神が同じ（自分たちの力で生活を良くする）

等が挙げられます。






避難訓練を実施しました　５月２１日(木)



学校のように多くの人が集まる施設では、消防法や学校保健安全法の規定により、年２回以上の避難訓練（消火・通報含む）の実施が義務づけられています。

また、人間は予期せぬ事態に直面したとき、「自分だけは大丈夫」「大したことはない」と思い込もうとする「正常性バイアス」という心理が働くと言われています。

そこで、災害時に脳がフリーズするのを防ぎ、「サイレンが鳴ったら、体が自然に動く」というレベルまで行動をパターン化（マッスルメモリー化）しておくためにも、年２回の反復訓練が大変重要になります。

訓練当日は、雨天のため避難場所を校庭から体育館へ変更しての実施となりましたが、生徒たちは真剣な表情で速やかに行動していました。

初夏の祭り　体育祭　５月２８日(木)

シンボルマーク



(室井　琴希さん作)

前々日までの天候不良により、一時は延期も心配されましたが、前日午後からは天気が回復。当日は雲間から青空がのぞく、絶好の体育祭日和となりました。

今年度は、ＰＴＡ会長様をはじめとするご来賓の皆様、そして多くの保護者の皆様にご来校いただき、「絆のピース　繋げて掴め　完全優勝」（中澤楓花さん作）のスローガンの下、盛大に体育祭を実施することができました。

【体育祭の様子】



学習評価の変更について

今年度より「新しい評価の仕組み」を導入し、それに伴い「定期テストの回数」を削減します。これまでの定期テストは、一度に広い範囲を扱うため、どうしても「テスト直前の詰め込み学習」になりがちでした。結果として、テストが終わると知識が定着せずに抜けてしまう、という課題も見受けられました。

そこで今年度は、以下の３つを柱として新しい評価と学習の仕組みを進めてまいります。

・小テスト・単元末テストの重視
　記憶が鮮明なうちにこまめに確認を行うことで、生徒自身がつまずきを早期に発見し、解消できるようにします。

・多角的な視点での評価
　ペーパーテストの結果だけでなく、ノートの内容や提出物、授業での工夫など、「どう考え、どう取り組んだか」というプロセス（過程）を重視し、日々の努力を「線」としてつなぐ正当な評価を行います。

・実力テストの活用
　成績（内申点）には直接反映させませんが、自分の現在の立ち位置を知る「学びの健康診断」として活用し、入試に向けた実践的な実力を養います。

この変更は、教員が生徒一人ひとりの授業の様子や提出物にしっかりと目を通し、丁寧なフィードバック（見直しやアドバイス）を行う時間を確保するためのものでもあります。単にテストを減らすのではなく、「確かな学力」を一人ひとりに身につけさせるための改革です。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

※欠席・遅刻・早退のご連絡は、原則として「さくら連絡網」をご利用ください。